

ヘルメット義務づけと自由の国アメリカ

①日本ではヘルメットの着用は義務づけられています。ヘルメットをかぶらないでバイクにのると減点1です。では、太平洋のむこう側、アメリカではどうなっているか、今回はこれを取り上げてみます。

②アメリカでは、日本と違い、50の州がそれぞれ独立して別の法律を持っているので、交通規則も州ごとに違っています。だから、ヘルメットが義務づけになっている州もあれば、義務づけられてない州もあります。現在ヘルメットが義務づけられている州は50の内21です。

③10年位まえまでは着用義務を持つ州の数が増えつづけ、一時は46まで増えました。それが現在は21に減ってしまったんです。なぜ一度採用した着用義務をやめてしまう州が出てきたのかというのがこの話の主題です。

④着用義務をやめてしまうようになったきっかけというのは、たしかミシガン州あたりだったと思いますが、一人のライダーがヘルメットをかぶらないで走っていつか、罰金を云いわれたんです。所が、このライダーは着用の義務付自体に問題があるんで、その罰金は払う必要なしとして、州政府を相手に裁判をはじめました。

⑤まず、ライダー側の云い分を聞いてみましょう。“ヘルメットをかぶらうと、かぶらなからうと、別に他人に危害を加えるわけじゃなし、それはオレの自由じゃないか、それを法律で無理やりかぶせるのは、オレの自由をうばう事だ。自由は憲法で保証されてるオレの権利だ。オレの自由をうばうようなヘルメット着用義務は憲法に反するから無効だ!”という事だそうです。

⑥それに対する州政府側の反論は、“かぶらなくても他人に危害を加えないと云うけど、ヘルメットをかぶらないで事故を起こせば、死亡したり、植物人間になったりする率は確実に高くなるんだ。そんな事になれば、そのあと始末どうしてくれるんだ。残された家族の面倒を見る他人や州政府に大きな負担をかける事になるじゃないか。余分な税金を使う事にもなり、州の納税者全員に対し損害を及ぼす事になる。他人に損害を与えるのを未前に防止するのも、ヘルメット義務づけの意義なんだから、勿論憲法の主旨に反するものではない!”というものです。

⑦どちらの云い分にも一理あるので、このような裁判の決着なんて、そう簡単につくもんじゃないんですが、こんな裁判ざたがあっちこちで起り出したもんで、ヘルメットの義務づけに

いや気がさす州も出て来て、結局25の州が着用義務をひっこめてしまったわけです。もっとも、カリフォルニアのように最初から一度も着用義務を取り上げなかった州もありました。

⑧ヘルメット着用義務をひっこめた州はその後どうなったかという、バイクの事故で死亡するライダーの数は確実に増えてるそうです。もし今でも着用義務があったらと想定した場合よりも、40から50%程死亡率は高くなってるそうです。自由というのは高くつくもんですね!今でもワシントンの交通局では、各州に対して着用義務をもう一度復活させるよう、いろいろの資料を作って働きかけてるようです。

⑨さて、日本のライダー諸君は、ヘルメットの義務づけどう思いますか?人通りの少ない田舎道、青空のもとをのんびり走るような時は、ヘルメット屋だつて人の子、ヘルメットをぬぎたくなる事もある。でも、着用を義務づければ死亡率のさがるのは確か。ヤッパ死にたくないし、死なせたくない。

⑩皆さんは着用義務をどう思いますか?アメリカのライダーの云い分をどう思いますか?賛成もいれば反対もあるでしょう。よろしかったら御意見お寄せ下さい。ユニークなものがあったら☎ニュースで取り上げてみます。但し返事は出しませんので、あしからず!



Arai バッグ・ステッカー

バッグは3種類: ヘルメット、スーツ、ブーツ、手袋、着替シャツ他レース用一式が収まるサーキットバッグ ¥15,000。幅50cmでフルフェイス1個と小物が入るレザー製スポーツバッグ ¥4,500。ジェット型なら1個入る布製ハンディバッグ ¥1,800。すべて濃紺に白文字。レーサー用ヘルメットの側面に貼ってある11×5のステッカーは1枚 ¥100(両面に貼るなら2枚必要)、41×19のステッカーは1枚 ¥1,200。前面のスコッチマーフ7.5×3.5は ¥300、カフリングに貼る21×9のステッカーは ¥300です。通販の送料はサーキットバッグ、スポーツバッグは ¥450、布製バッグは ¥200、ステッカーは ¥50です。

●カタログご希望の方は、切手60円分同封の上、お申しつけください。